

決算特別委員会産業建設分科会

R 3 . 7 . 5 (月)
午後 時 分～
場所:全員協議会室

- 1 開 議
- 2 事務事業評価対象事業の選定
- 3 その他

決算事務事業評価に向けて

【別紙 1】

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

☆事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

【別紙 2】

過去 3 年間における評価結果（選定事業／評価結果／付帯意見）

【令和 2 年度審査】

農業担い手づくり育成事業経費	拡充
○農家所得の向上に向け、現事業の見直しを行うとともに、新規就農者の育成等に係る専任マネージャーの充実とともに、亀岡農業をマネジメントできる人員を配置することにより、集落営農等が安定して維持・発展できるよう一層努力されたい。	
商工業振興対策経費（かめおか元気企業支援事業補助経費、かめおか元気商店街等支援事業経費）	拡充
○亀岡商工会議所とさらに連携を深め、事業内容を見直し、しっかりと予算を確保されたい。また、各事業を一過性で終わらせるのではなく、どのように将来につなげていくのかについてのチェック体制を整えられたい。	
観光推進経費（亀岡市観光協会運営費補助経費、亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）	拡充
○コロナ禍にある社会情勢を鑑み、観光施策をスクラップ・アンド・ビルドにより見直し、亀岡市観光協会や森の京都DMO等と連携強化を図り、行ってみたいまち、住みたいまち亀岡を目指し、シティープロモーションにつながるよう、より一層充実した取組とされたい。	

【令和元年度審査】

商工業振興対策経費	見直しの上継続
○成果指標を適正に測り、各補助金や助成金の見直しを図られたい。 ○地域商店街等とさらに連携を図り、地域経済の活性化とにぎわい創出に向けより一層努力されたい。	
観光推進経費	見直しの上継続
○森の京都DMO等関係団体とよりしっかりと連携を図り、2020年のターゲットイヤー及びその後の亀岡市の観光推進に向け、プロモーションの強化を図られたい。 ○滞在型観光の推進と消費拡大に向け、さらなる工夫を図られたい。	
バス交通関連経費	見直しの上継続
○今後も公共交通に対する市民ニーズを的確にとらえ、市民の移動手段確保のため一層工夫されたい。	

【平成 30 年度審査】

畜産振興関係経費	継続（拡充）
○ブランド牛としての亀岡牛のPRを含め、一層振興を図られたい。	
観光推進経費	見直しの上継続
○市民や顧客のニーズを的確にとらえ、きちんとした裏付けのある予算計上を行い、さらに成果が上がるよう、予算の拡充を含めて取り組まれたい。	